



▶産業まつりの会場内で来場者に募金を呼び掛けた

豪雨災害への復興のため 羽場地区赤十字奉仕団が募金活動

記録的な大雨による被災地を支援しようと、羽場地区赤十字奉仕団が募金活動を行いました。
県内置賜地域では、8月3日からの大雨で床上・床下浸水が多く見られ、農産物の被害額も相当な額となるなど甚大な被害が確認されています。

そうした中、羽場地区奉仕団が、「同じ山形県民として少しでも力になれれば」と募金活動を実施。皆さんのご協力のおかげで、3万6938円の募金が集まりました。温かいご支援ありがとうございました。
集まった募金は日本赤十字社に送られました。

新たに丹喜一さんが教育委員に就任 「子どもたちのため頑張りたい」

平成17年4月1日から令和4年9月30日まで、17年6カ月務められた丹喜一さん(稲沢)の退任にともない、新たに、丹喜一さん(稲沢)が町教育委員会教育委員に就任されました。就任にあたり、丹さんは「地域の宝である子どもたち一人一人の健やかな成長に向け、教育委員の皆さんと力を合わせ支援していきたい」と意気込みを語りました。任期は令和8年9月30日までです。また、9月13日で任期を迎えた須藤信一教育長は、9月議会定例会で議会の同意を得て、再任されました。任期は令和7年9月13日までの3年間となります。



▶10月1日、教育長室において辞令が交付された丹委員

未来を担う子どもたちを町全体で育むために 金山教育コンソーシアム運営協議会を開催

9月22日、町内園・小・中・高の代表者、教育関係団体並びに産業3団体等の代表者からなる、金山教育コンソーシアム運営協議会を開催しました。コンソーシアムとは共通の目的を持つ複数の団体・組織が協力するために結成する共同体のことです。町ではこれまでも「金山町教育大綱」を基軸に「適時適育」を教育理念に掲げ、教育行政を推進して

おり、町ぐるみで子どもを育てることを啓蒙してきました。6月には金山町立小中学校運営協議会を設立し、より地域に開かれた学校づくりを行うっていくことを確認し、この小中学校運営協議会を機に、今後、少子化が進む中で、子ども達を町ぐるみで育むことを再確認し、機運の高まりと意識の醸成を図ることを目的として金山教育コンソーシアム運営協議会を開催しました。



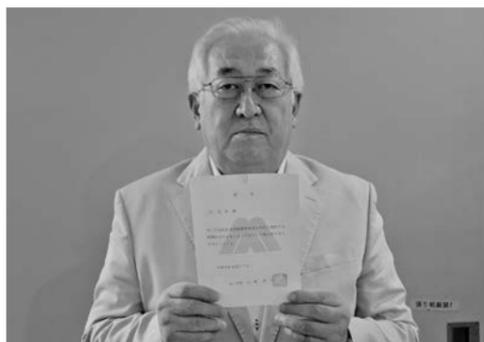
▶改善センターを会場に、町の教育関係者が集い課題の共有を図りました。

全国学力学習状況調査の結果から、町の小中学生が地域活動にどう関わっているか、さらに放課後や休日はどう過ごしているのか等についての報告後に、「地域と子育ての関わり」についてグループ協議を実施。話し合われた内容を全体で共有し、委員がそれぞれ所属する団体等で課題解決に向けた取り組みや意識を高めていくことの確認を行いました。

固定資産評価審査委員会委員に 岸忠男さんが新たに就任

令和元年9月27日から、令和4年9月26日まで3年間務められた堀一恵さん(七日町)の退任にともない、岸忠男さん(七日町)が金山町固定資産評価審査委員会委員に任命され、佐藤町長から辞令が交付されました。固定資産評価審査委員会とは、中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定その他の事務を行う行政委員会です。委員は議会の同意を得て選任されています。

任期は、令和4年9月27日から令和7年9月26日までの3年間です。よろしくお願ひします。



▶9月27日、役場において佐藤町長から辞令が交付された岸委員

ビナーッツの新商品をお披露目 児童考案の味付けとパッケージを採用

金山小6年生と、(株)でん六が共同開発した商品のお披露目が10月9日、シェーネスハイム金山で行われました。金山小は、山形県子どもベンチャーマイナード育成事業の起業家教育として、(株)でん六の協力のもと、落花生の栽培・製品製作に取り組んできました。今回は、当時4年生だった児童が考案した味付けから「塩こんぶ味(10〜11月)」「チョコ(ココア)味(12〜1月)」の2種類をでん六ならではの菓子里にアレンジ。パッケージは6年生の児童が思いを込めて描いた63デザインを採用。お披露目会では、武田校長先生が「子どもたちは自分が描いたデザインが店頭に並び正式に販売されることをとても喜んでいる」と一連の事業の成果を感じた様子でした。

商品は、期間限定で販売し、無くなり次第終了ですので、お早目にお買い求めください。



▶でん六と金山小のコラボ企画で出上がった商品を手にする関係者の皆さん

まちづくりの課題や目標の共有化を 各地区で「町づくりフォーラム」を開催

佐藤町長が各地区等に伺い、まちづくりに対するご意見を住民の皆さんから直接いただくため、「町づくりフォーラム」を開催しています。新型コロナウイルスの影響で開催を見合わせていましたが、今年度は感染予防対策を行い4地区で開催しました。

広報紙やホームページ等では、町の現在の状況について随時お知らせしていますが、町づくりフォーラムは、町民と行政が膝を突き合わせて直接話を行う貴重な機会。この場でいただいたご意見を参考にしながらより良い町づくりを行ってまいります。



▶10月19日には、稲沢地区で開催。約12名が参加され、多くの意見が出された